

MP8近傍敷地境界連続ダストモニタおよび ダストモニタNo. 2の故障事象について

2022年9月12日



東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所

1. 時系列

●5月27日

- 13:35頃 MP8近傍敷地境界連続ダストモニタ(A系B系)^{※1}およびダストモニタNo. 2^{※2}で機器異常警報が発生して停止
- 16:17頃 MP8近傍敷地境界連続ダストモニタB系を予備の同型機に交換して測定再開
- 18:02頃 MP8近傍敷地境界連続ダストモニタA系を予備の同型機に交換して測定再開

●5月31日

- 15:25頃 ダストモニタNo. 2について、直置き端子部等を乾かし、ポンプ単体の電気抵抗測定および巻線抵抗測定に異常なしを確認したのち測定再開。

※1 敷地境界連続ダストモニタ

震災以降に社外からの要請を受け、敷地境界のダスト濃度を連続監視するために、モニタリングポスト各局所(全8局所)に設置。

※2 ダストモニタ

震災前から設置しており、実施計画及び廃炉協定に基づき1回/3ヶ月の頻度で測定。

2. モニタリングポストおよびダストモニタ局舎の浸水状況

モニタリングポストおよびダストモニタ局舎周辺状況



ダストモニタ局舎内部状況



局舎の設置箇所は、周辺と比べて20～30cm程度の窪んだ地形

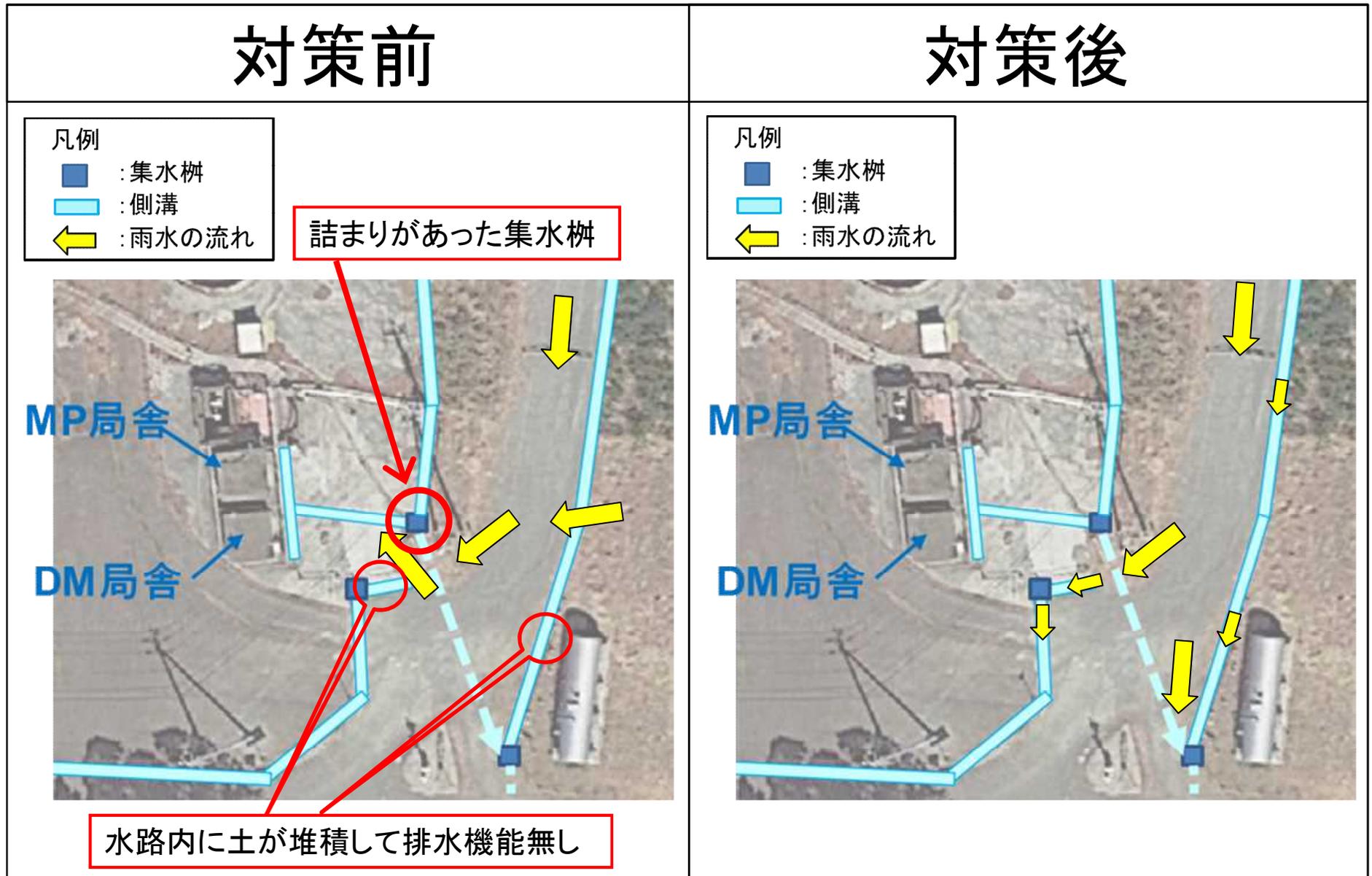
(1) 推定原因

- 浸水した局舎は、周辺と比べて20～30cm程度の窪んだ地形に設置
⇒ MP8特有の環境
- 浸水前日に定期清掃を行なっており、集水枡や側溝に枯葉等はなかったことを確認している。
このため、降雨で集まった周辺の枯葉等で集水枡を詰まらせ下流側の側溝への流れを堰き止め水嵩が上がった

(2) 再発防止対策

- ① 1回／月のMP8周辺の側溝内の清掃に加え、1回／週の頻度で枯葉等の集積などの状況を確認し、必要に応じて清掃を行なう。
- ② 旧展望台道路や局舎の南側に位置する側溝内の土を除去して、排水機能を回復させた(6月6日実施済み)
これにより、今回、詰まりが発生した集水枡への流入は減少すると考える
- ③ ダストモニタNo.2およびMP8局舎入口扉には、浸水防止対策として、止水板を2022年11月末までに設置完了予定。

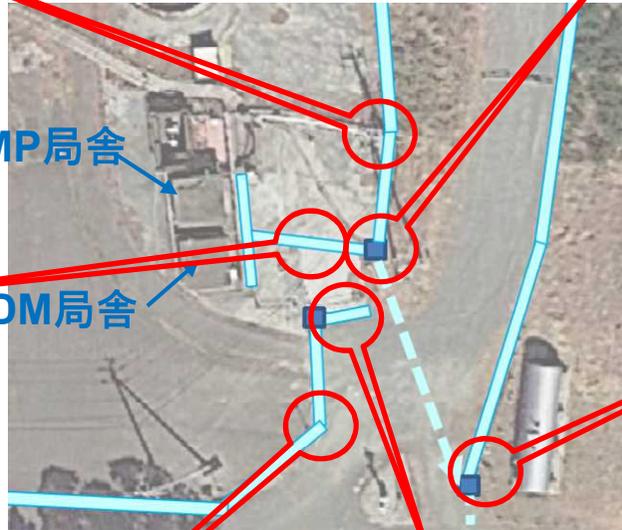
4. 側溝内の土除去による排水機能回復前後での雨水の流れ（想定） **TEPCO**



<参考1> MP8局舎周りの側溝清掃状況 (6月16日現在)



枯葉等が詰まった
集水柵



MP局舎

DM局舎



水路内の土を除去



是正前

是正後